

「豪雨」、「猛烈な台風」、「暑すぎる夏」・・・

近年、私たちの生活を脅かすほどの気象の変化が現れています。

これらの気象変化の原因として、「地球の温暖化」があるとされています。

複数の科学研究により、今のまま温室効果ガスが増加すると、

2100年までに地球の平均気温は最悪の場合6.4℃上昇すると予測され、

人間社会や生態系への悪影響が地球上のほとんどの地域で顕在化すると予測されています。

「地球温暖化」を防止するためには、私たち一人ひとりが意識をもって

温室効果ガスを削減しなければなりません。

未来に、「かけがえのない地球環境」を残していくためにも・・・



宇都宮市
平成19年2月

宇都宮市 地球温暖化対策 地域推進計画



はじめに

今、活発化した人間の活動が地球の温暖化を進めています。次の世代へかけがえのない地球環境を引き継いでいくために、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らし、地球の温暖化を食い止めなければなりません。

このため、本市では、宇都宮市における地球温暖化対策に関する基本方針を定め、市民・事業者・市が一体となった市域全体での温室効果ガス削減の具体的取組を推進するため「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました。

地球の温暖化

1 地球温暖化のメカニズム

地球の気温は、太陽から受ける光のエネルギーと地球自体が宇宙に向けて出す熱放射（主として赤外線）とのバランスによって定まります。地球が人間や動植物にとって住み良い環境である平均気温15℃前後に保たれているのは、二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」が、宇宙へ放出される熱の一部を吸収して再び地表面へ反射し、大気を常に温めているからです。もし、温室効果ガスが存在していなければマイナス18℃程度になるといわれています。

しかし近年、わたしたち人間は、経済発展や過度の利便性を追求することにより、石油等の化石燃料の大量消費や大規模な森林伐採を行ってきました。その結果、二酸化炭素等の温室効果ガスの大気中濃度が上昇し、温度調整機能のバランスが崩れかけ、地球の気温はかつて経験したことのないスピードで急激に上昇し続けています。これが「地球温暖化」といわれる現象です。

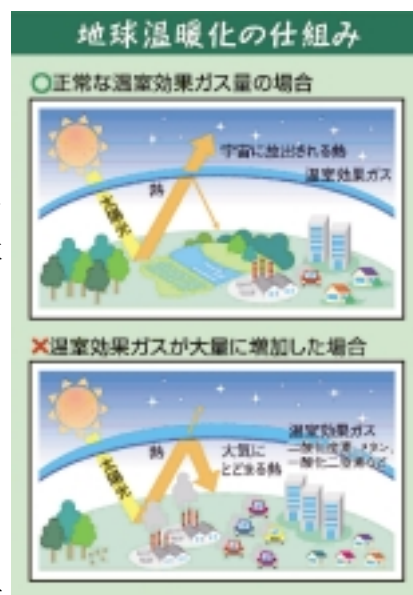


図 1.1.1 地球温暖化のメカニズム

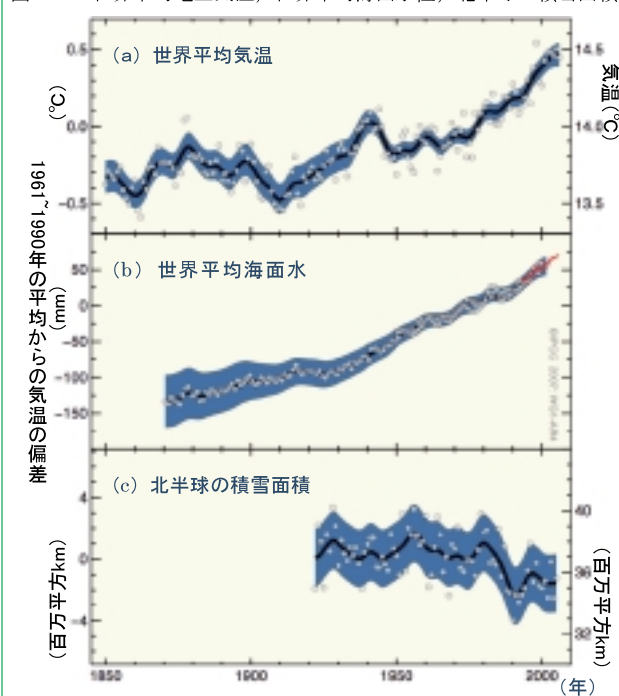
2 地球温暖化とその影響

温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の科学的・技術的な評価・検討を行うために設置された、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」が平成19年(2007年)2月に公表した『第4次評価報告書』の第1作業部会報告書(自然科学的根拠)によると、20世紀後半の北半球の平均気温は過去1300年間の内で最も高温となり、過去100年に、世界平均気温が長期的に0.74℃上昇し、最近50年間の長期傾向は、過去100年のほぼ2倍という結論が出されました。

報告書では、今後の平均気温や平均海面水位の上昇についても報告を述べており、地球温暖化の影響がより深刻となる「化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会」においては、平均気温が2.4~6.4℃、平均海面水位が26~59cm上昇すると予測しています。

一方で、「環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会」を目指す場合においては、平均気温が1.1~2.9℃、平均海面水位が18~38cmの上昇に抑えることができると予測しています。

図 1.1.2 世界平均地上気温、世界平均海面水位、北半球の積雪面積



出典：I P P C「第4次評価報告書」(2007)

地球温暖化が進行すると…



海水の熱膨張や氷河が融けて、海面が最大 88cm 上昇します。南極の氷が融けるとさらに海面が上昇します。



マラリアなど熱帯性の感染症の発生範囲が広がります。



気候の変化に加えて、病害虫の増加で穀物生産が大幅に減少し、世界的に深刻な食糧難を招く恐れがあります。



このまま温暖化が進み、2100年に地球の平均気温が大きく上昇したときの地球の様子について、IPCCが平成13年(2001年)の第3次報告書の中で以下になると予想しています。



現在絶滅の危機にさらされている生物は、ますます追い詰められ、さらに絶滅に近づきます。



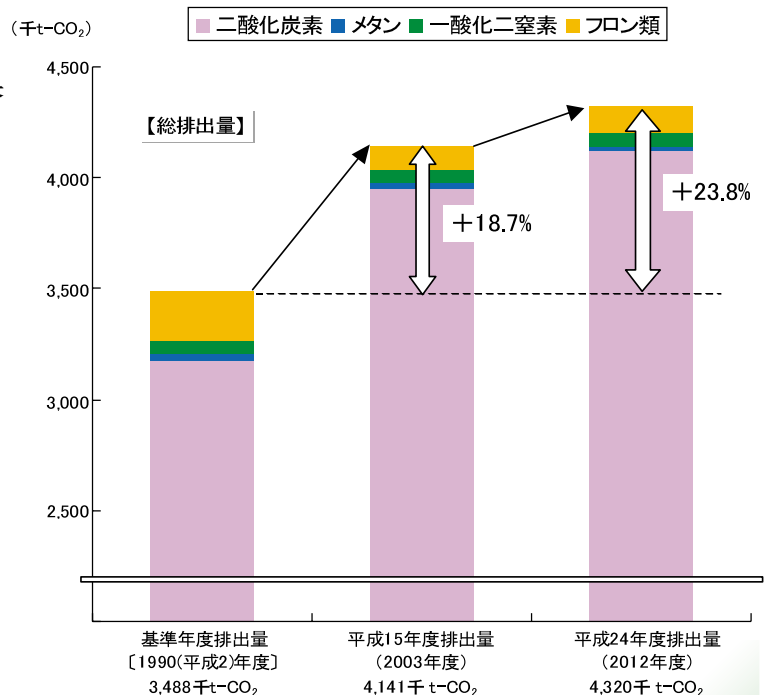
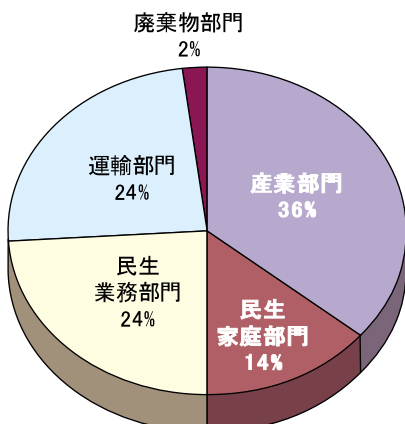
降雨パターンが大きく変わり、内陸部では乾燥化が進み、熱帯地域では台風、ハリケーン、サイクロンといった熱帯性の低気圧が猛威を振るい、洪水や高潮などの被害が多くなります。

※出典：環境省『地球温暖化パネル』

宇都宮市の温室効果ガス排出実態と将来予測

本市の平成15年度（2003年度）の温室効果ガス総排出量は、約4,141千t-CO₂と推計され、二酸化炭素が全体の95%を占めています。

また、平成15年度（2003年度）の排出量は、基準年度である平成2年度（1990年度）に比べ、約19%増加しており、平成24年度（2012年度）には約24%増加すると推計されています。



二酸化炭素の排出量では、産業部門が36%と最も高くなっており、次いで、民生業務部門と運輸部門が24%、民生家庭部門が15%という順になっています。

宇都宮市が目指す脱温暖化社会

『資源やエネルギーを大切にした、二酸化炭素の排出が少ないまち』

- ・日常生活や事業活動において省エネルギー・省資源に心がけた環境にやさしいライフスタイルや、環境に配慮したビジネススタイルが実践されるまちを目指します。
- ・地域のエネルギーの有効活用や、バランスのとれた環境配慮型の交通体系の整備などによる二酸化炭素の排出が少ないまちを目指します

施策の体系

『資源やエネルギーを大切にした、二酸化炭素の排出が少ないまち』を目指して！

1 『環境にやさしいライフスタイルの促進』

(1)市民の省エネルギー・省資源型ライフスタイルの促進

- * 環境保全行動の促進
- * 省エネルギー・新エネルギー設備の積極的な導入促進
- * 低公害車や低燃費型自動車の積極的な導入、エコドライブ普及促進

(2)市民のごみの減量やリサイクル行動の促進

- * 家庭からのごみ発生抑制の促進
- * 適正な資源循環利用の促進
- * 市民協働によるごみの減量化・資源化の促進

2 『環境に配慮したビジネススタイルの促進』

(1)事業者の省エネルギー・省資源型ビジネススタイルの促進

- * 環境管理行動の促進
- * 省エネルギー・新エネルギー設備の積極的な導入やESCO事業の普及促進
- * 低公害車や低燃費型自動車の積極的な導入、エコドライブ普及促進

(2)事業者のごみの減量やリサイクル行動の促進

- * 事業者からのごみ発生抑制の促進
- * 適正な資源循環利用の促進
- * 市民協働によるごみの減量化・資源化の促進

3 『二酸化炭素の排出が少ないまちづくりの推進』

(1)地域のエネルギーを有効に活用するまちづくりの推進

- * 新エネルギーの導入促進
- * 省エネルギー対策設備等の普及促進

(2)バランスのとれた環境配慮型交通体系の整備の推進

- * 公共交通機関や自転車などの利用促進
- * 都市交通の円滑化の推進
- * コンパクトで機能的なまちづくりの推進

(3)二酸化炭素吸収のための緑の確保

- * 森林の適正な管理・育成
- * 都市緑化の推進による二酸化炭素吸収源の創出

4 『地球温暖化防止のための横断的な対策の推進』

(1)地球温暖化防止のための横断的な対策の推進

- * 環境学習の推進
- * 民間団体との協働による地球温暖化対策の推進

温室効果ガス削減目標

本市における地球温暖化防止に向けての削減目標は以下のように設定します。

2012年度（平成24年度）における温室効果ガス排出量を現況年度に比べて、
市民1人又は1事業者当たりでそれぞれ17%削減することを目指します。
（温室効果ガス総排出量として、基準年度比0.5%の削減を目指します。）

【施策】

・市民の省エネルギー行動を促進する。

・省エネルギー機器の普及啓発を行う。
・新エネルギー機器の普及啓発を行う。

・低公害車や低燃費型自動車の導入を促進する。
・エコドライブを普及促進する。

・家庭から排出されるごみの削減や
積極的なリサイクル行動を促進する。

【行動指標】

・家庭版環境ISO認定家庭数
・「(仮称)もったいない宣言」をした家庭の数

・高効率給湯器設置や省エネルギー機器の導入家庭数
・住宅用太陽光発電システム設置家庭数

・市民の低公害車、低燃費型自動車の
導入台数

・焼却する廃プラスチックの削減量
・焼却するごみの削減量

【施策】

・環境管理行動による省エネルギー推進を促進する。
・市の事務事業における率先行動を推進する。

・建物や設備の省エネルギー化を促進する。
・省エネルギー機器の普及啓発を行う。
・新エネルギー機器の普及啓発を行う。

・低公害車や低燃費型自動車の導入を促進する。
・エコドライブを普及促進する。

・事業者が排出するごみの削減やリサイクル行動の推進を促す。

【行動指標】

・環境管理行動に取り組む事業所数

・省エネルギー機器を導入する事業所数
・新エネルギー機器を導入する事業所数

・事業者の低公害車、低燃費型自動車の導入台数

・焼却する廃プラスチックの削減量
・焼却するごみの削減量

【施策】

・太陽エネルギーや小水力発電・BDFの利用促進などを行う。

・ESCOや地域冷暖房等の省エネ設備普及促進などを行う。

・新交通システムの導入を推進する。
・生活交通確保プランを推進する。
・自転車利用・活用を推進する。

・交通渋滞緩和による自動車走行燃費の向上を図る。

・環境負荷の少ないコンパクトで持続可能な都市づくり。

・森林整備事業を推進する。
・「地球温暖化防止のための森林吸収源対策プラン」を推進する。

・緑地・里山の保全、公園の整備、都市緑化を推進する。

【行動指標】

・市の施設における太陽光発電システムの率先導入、
水道送水管における小水力発電の導入、
廃食用油によるBDF導入の推進 など

・市の施設でのESCO事業などによる省エネ設備の率先導入など

・新交通システムの導入
・モビリティマネジメントの推進
・レンタサイクルの実証実験
・公共車輛優先システムの整備 などの実施

・交差点改良や踏切改良事業の推進

・「宇都宮市都市計画マスタープラン」の推進

・宇都宮市森林整備事業計画の推進
・宇都宮市森林ボランティア活動の実施

・「宇都宮市緑の基本計画」の推進

【施策】

・出前講座等による温暖化に関する学習機会を創出する。
・環境学習センターなどにおける環境学習を推進する。

・市民や事業者の地球温暖化防止意識を向上させる。
・本市における地球温暖化対策を推進する組織を形成する。

【行動指標】

・地球温暖化防止のための意識向上機会の提供
・地球温暖化防止のためのPR活動の実施

主要施策

「施策の体系」で示した施策の中で、本市の地域特性や必要性等を踏まえて、特に推進意義の高い取組を「主要施策」として位置付け、積極的に取り組めます。

主要施策① 市民の省エネルギー行動の促進

市民一人ひとりが、日常生活における省エネルギー行動に積極的に取り組むことで地球温暖化などの環境問題に対応していくことを目指し、もったいない運動や家庭版環境ISOの取組を推進します。



主要施策② 省エネルギー機器の普及促進

地域における地球温暖化対策として有効である、環境負荷の少ない高効率給湯器や家電製品の省エネルギー性能が一目で分かる「省エネラベリング制度」の普及啓発や、家庭・オフィスなどにおけるエネルギー消費量の節約に効果のある取組・工夫、省エネルギー機器の買換え促進に関する情報提供を行います。

主要施策③ 新エネルギー機器の普及促進

環境への負荷の少ないクリーンエネルギーである太陽光による発電を広く市民・事業者への普及啓発を行うとともに、住宅用太陽光発電システムの設置を希望する市民等には、その設置費用の一部を補助し、導入を推進します。また、その他の新エネルギー機器についても普及啓発を図ります。



主要施策④ 低公害車や低燃費型自動車の導入促進

低公害車や低燃費型の自動車は、エネルギー消費量や温室効果ガスの排出量を大幅に軽減することができることから、市民や事業者への普及啓発を行い、広く導入を促進します。

主要施策⑤ 家庭から排出されるごみの削減やリサイクル行動の促進

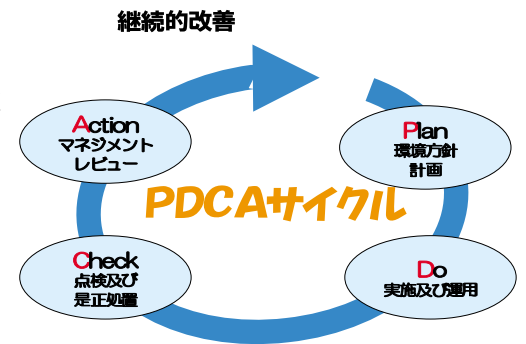
市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を果たし、お互いに協力し合いながら持続可能な循環型社会の構築を目指し、「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」に位置付けた重点施策を推進します。



主要施策⑥ 環境管理行動による省エネルギー行動の促進

温室効果ガス削減のための取組として、省エネルギー行動の推進は非常に効果のある取組であり、事業者においてもこの取組を積極的に行います。

また、ISO14001の認証取得や、簡易版の環境マネジメントシステムである「事業所版環境ISO」を活用し、省エネルギー行動を促進します。



主要施策⑦ 「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」による市事務事業における率先行動

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく市の率先実行計画として「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」を策定し、市の事務事業における省エネルギー・省資源やグリーン購入に取り組むとともに、庁舎等への省エネルギー・新エネルギー設備の導入などを推進します。

主要施策⑧ 事業者が排出するごみの減量やリサイクル行動の推進

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を果たし、お互いに協力しながら持続可能な循環型社会の構築を目指し、「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」に位置付けた重点施策を推進します。



主要施策⑨ 森林整備事業の推進

森林の有する二酸化炭素吸収源としての機能を有効に発揮させるため、森林施業に伴う間伐や植林等の適正な維持・管理を推進します。

主要施策⑩ 市民や事業者の地球温暖化防止意識の向上

市民や事業者の地球温暖化防止に対する意識の向上を図るための講演会やイベントの開催等、意識向上に資する場を積極的に提供することで、地球温暖化防止行動の促進を行います。

また、市民の地球温暖化問題への関心や理解を深めるため、市の有する環境情報を体系的に整備し、市民に分かりやすく利用しやすい形での情報提供を行います。



市民の取組

市民は、省エネルギー・省資源につながる環境にやさしい行動を実践し、環境負荷の少ないライフスタイルに取り組みます。

◆市民1人当たり17%の温室効果ガス削減には、1人当たり450kg-CO₂の削減が必要です。これを、宇都宮市の2003年度（平成15年度）の平均世帯人員（2.56人）による標準的な家庭では、およそ1,152kg-CO₂の削減が必要です。
各家庭での温室効果ガス削減モデルを示しますので、これを参考に取組んでください。

1. 生活の中で取り組むことのできる省エネルギー行動による各家庭での削減効果

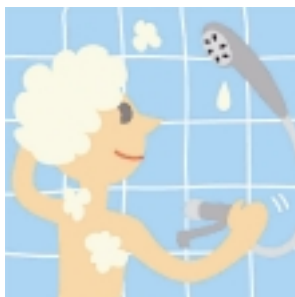
[単位：kg-CO₂]

取組項目		削減効果	
家庭での省エネルギー行動	リビングでの取組	夏の冷房時の室温は28℃を目安に。	11
		冬の暖房時の室温は20℃を目安に。	25
		冷房は必要などきだけつける。	7
		暖房は必要などきだけつける。	41
		フィルターを月に1回か2回清掃する。	12
		電気カーペットや電気こたつの設定温度は低めにする。	123
		こたつ布団に、上掛けと敷布団をあわせて使う。	12
		電球型蛍光灯に取り替える。	32
		照明器具の点灯時間を短くする。	2
		テレビを見ないときは消し、画面の明るさや音量は最適に調節する。	24
	キッチンでの取組	冷蔵庫の庫内温度を調節し、ものを詰め込み過ぎない。	40
		冷蔵庫の開閉時間を短縮する。	6
		冷蔵庫を壁から適切な間隔で設置する。	17
		電気ポットは長時間使用しないときはプラグを抜く。	41
		煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する	45
	浴室・洗面所での取組	ガスコンロは炎が鍋底からはみ出さないように調節する。	6
		入浴は間隔をあけずに入る。	90
		シャワーは不必要に流したままにしない。	28
	掃除・洗濯での取組	温水洗浄便座の温度設定をこまめに調節し、使わない時は蓋を閉める。	28
		洗濯物のまとめ洗いをする。	12
移動する際の行動	自動車に乗る際の取組	部屋を片付けてから掃除機をかけ、集じんパックは適宜取り替える。	3
		アイドリングをストップする。	38
		自動車に無駄な荷物を積まない。	3
		急発進、急加速は止める。	65
	自動車を使わない取組	タイヤの空気圧を適正に保つ。	35
公共交通機関や自転車、徒歩による移動を心がける。	253		
ごみを捨てる際の行動	「宇都宮りんごダイエット作戦」の実施	81	

※夏の冷房時の室温は28℃を目安に。



※シャワーは不必要に流したままにしない。



※公共交通機関や自転車、徒歩による移動を心がける。

出典：環境省『地球温暖化パネル』

2. 省エネルギー機器の導入による各家庭での削減効果

[単位：kg-CO₂]

取組項目		削減効果
省エネルギー機器の導入	冷蔵庫を省エネルギー型の製品へ買い換える。	170
	エアコンを省エネルギー型の製品へ買い換える。	130
	テレビを省エネルギー型の製品へ買い換える。	26
効率の高い給湯器の導入	高効率給湯器を導入する。	820
低燃費型自動車の導入	燃費効率の高い自動車を購入する。	870

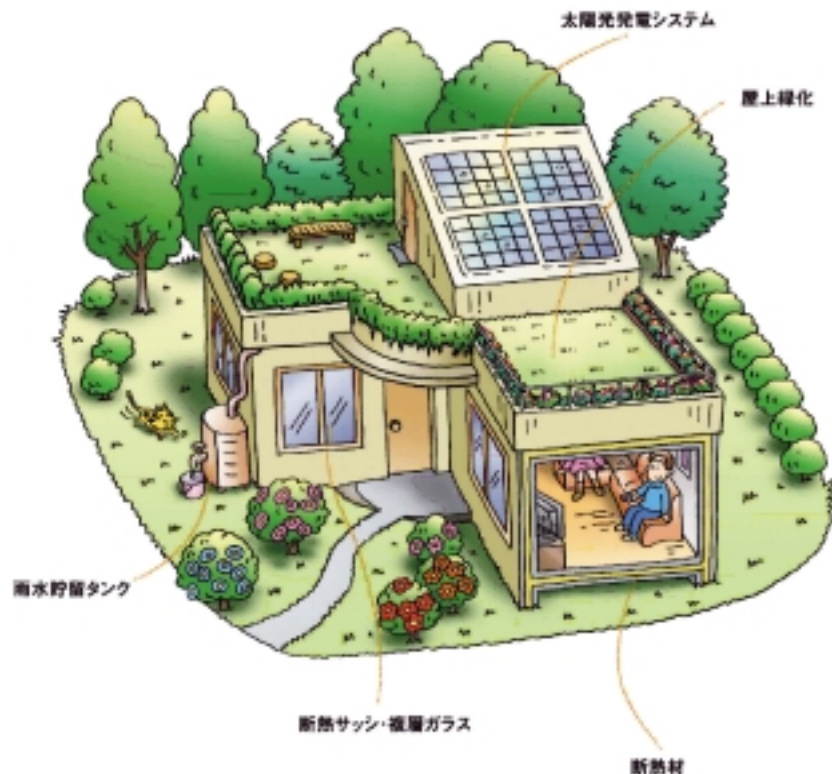
3. 新エネルギー機器の導入による各家庭での削減効果

[単位：kg-CO₂]

取組項目		削減効果
住宅用太陽光発電システムの導入	太陽光発電システムを設置する。	2,860
低公害車の導入	ハイブリッド車などの低公害車を導入する。	1,288

※これら以外の地球温暖化を身近なところから防止する取組として...

- ・断熱サッシや複層ガラス，断熱材などを利用して，住宅の断熱性を高めます。
- ・用途や家族構成に合わせた大きさの自動車を選択して，無駄なガソリンを使用しないようにします。
- ・吸収減となる樹木の保全や整備に貢献するため，緑化運動や森林保全に関するボランティア活動などに努めます。
- ・各家庭で緑化の推進を行います。
- ・地球温暖化防止に関する環境学習やイベントなどに積極的に参加し，地球温暖化防止に対する意欲を高めます。



事業者の取組

事業者は、省エネルギー・省資源の行動を実践し、環境に配慮した事業活動を積極的に行うビジネススタイルに取り組みます。

1 事業所での省エネルギー行動の徹底

- ・ 昼休み中はオフィス照明の全部又は一部を消すなどして、電気を節約します。
- ・ 空調機の冷房は28℃、暖房は20℃程度を目安に温度を設定します。
- ・ O A機器は、昼休みなど長時間使わない場合はこまめに電源を切るように心がけます。
- ・ 食器洗いなどに使うお湯の温度は低めにし、出しっ放しにしないよう気をつけます。
- ・ ガスコンロの炎は鍋の底からはみ出さないようにして使用します。

2 事業所の省エネルギー化の推進

- ・ インバータ形式の照明器具や、省エネルギー型のO A機器の導入などを図ります。
- ・ 石油ストーブ、ガス機器、給湯器はエネルギー効率のよい製品の購入に努めます。
- ・ 太陽光発電システムや太陽熱利用システム等の自然エネルギーの導入を図ります。
- ・ ビルを新築、改築する際には、断熱化、屋上緑化、壁面緑化等に努めます。
- ・ コージェネレーションを導入するなど、効率のよいエネルギーの使用に心がけます。

3 効率的な物流システムの構築

- ・ 通勤、通学、営業等には、徒歩や自転車、公共交通機関を積極的に利用します。
- ・ タイヤの空気圧を適正に保ちます。また、車に不要な荷物を積まないようにします。
- ・ 停車中はこまめにエンジンを切り、不必要なアイドリングを止めます。
- ・ 自動車の急発進や急加速、エンジンの空ぶかしをやめ、ガソリンや軽油の使用を削減します。
- ・ 自家用貨物車から営業貨物車への転換を図ります。
- ・ 共同輸配送システムの導入を進めます。
- ・ 帰り荷の利用促進を図ります。
- ・ 計画的に低公害車、低燃費型自動車の購入、導入を図ります。
- ・ 使用目的に合致した小型車の積極的導入により、省エネルギー化に努めます。
- ・ 鉄道輸送と連携した物流の効率化を図ります。

4 環境に配慮した事業の積極的推進

- ・ ISO14001や事業所版環境ISO認定制度等の環境マネジメントシステムの導入に努めます。
- ・ 日本経済団体連合会の環境自主行動計画や自主的な地球温暖化防止計画の策定、実施に努めます。
- ・ 環境にやさしい素材の製品提供や、環境負荷の少ない製品・サービスの開発提供に努めます。
- ・ 代替フロン等については、代替物質の利用を推進するとともに、やむを得ず使用する場合には、使用後の回収・再利用など、代替フロン等が大気中に放出しないように努めます。

5 「宇都宮りんごダイエット作戦」の実施

- ・ 商品の過剰包装など不必要な包装をしないようにします。
- ・ オフィスにおいては、両面コピーの徹底等により紙の使用量を削減します。
- ・ 使い捨て製品は極力使用しないようにします。
- ・ 原材料や事務用品にリサイクル製品を積極的に使用します。
- ・ 製品の製造から廃棄まで、温室効果ガスの排出量の少ない商品の購入促進を図るために、製品のライフサイクルアセスメント(LCA)を導入するとともに情報の公開に努めます。
- ・ 行政や自治会等地域団体、民間団体の再利用・リサイクル活動への積極的な参加を目指します。

6 環境保全活動への貢献

- ・ 二酸化炭素の吸収源である森林の保全や整備に貢献するため、地域における緑化運動など、森林資源の保全活動に参加するとともに、支援に努めます。また、自らの事業所の緑化にも努めます。

◆ 1事業者当たり17%の温室効果ガス削減の目安について、以下の2つの温室効果ガス削減モデルを示しますので、これを参考に取組んでください。

1. 事務所オフィスでの削減効果

■鉄筋4階建て、延床面積1000㎡の事務所ビルの場合

1年間の平均エネルギー使用量（用途別）	1年間の二酸化炭素排出量
冷・暖房 251,208 MJ	10.4 t-CO ₂
給湯 55,266 MJ	0.7 t-CO ₂
照明 306,055 MJ	32.2 t-CO ₂
動力 186,731 MJ	19.6 t-CO ₂
合計	62.9 t-CO ₂

■削減効果

[単位：t-CO₂]

取組項目		削減効果	
省エネルギー行動	エアコン	室内の温度設定を適切にする。(夏28℃, 冬20℃) カーテン・ブラインドを効率的に利用する	1.8
	照明・OA機器	昼休みの消灯に心がける。	0.8
設備面の取組	省エネルギー機器の導入	既存照明器具の安定器をインバータタイプに変更する。	7.7
		高効率照明器具に更新する。	9.3
	太陽光発電の導入	10kWの太陽光発電システムを設置する。	7.2

二酸化炭素削減量
26.8 t-CO₂
削減率
約43%

2. 小売店（コンビニエンスストア）での削減効果

■延床面積140㎡のコンビニエンスストアの場合

1年間の平均エネルギー使用量（用途別）	1年間の二酸化炭素排出量
空調 34,272 MJ	3.6 t-CO ₂
照明 78,336 MJ	8.2 t-CO ₂
冷蔵・冷凍用 80,784 MJ	8.5 t-CO ₂
その他 51,408 MJ	5.4 t-CO ₂
合計	25.7 t-CO ₂

■削減効果

[単位：t-CO₂]

取組項目		削減効果	
省エネルギー行動			
エアコン	店舗内の温度設定を適切にする。	0.6	
設備面の取組	省エネルギー機器の導入	既存照明器具の安定器をインバータタイプに変更する。	2.0
		高効率照明器具に更新する。	2.4
	太陽光発電の導入	4kWの太陽光発電システムを設置する。	2.9

二酸化炭素削減量
7.9 t-CO₂
削減率
約31%

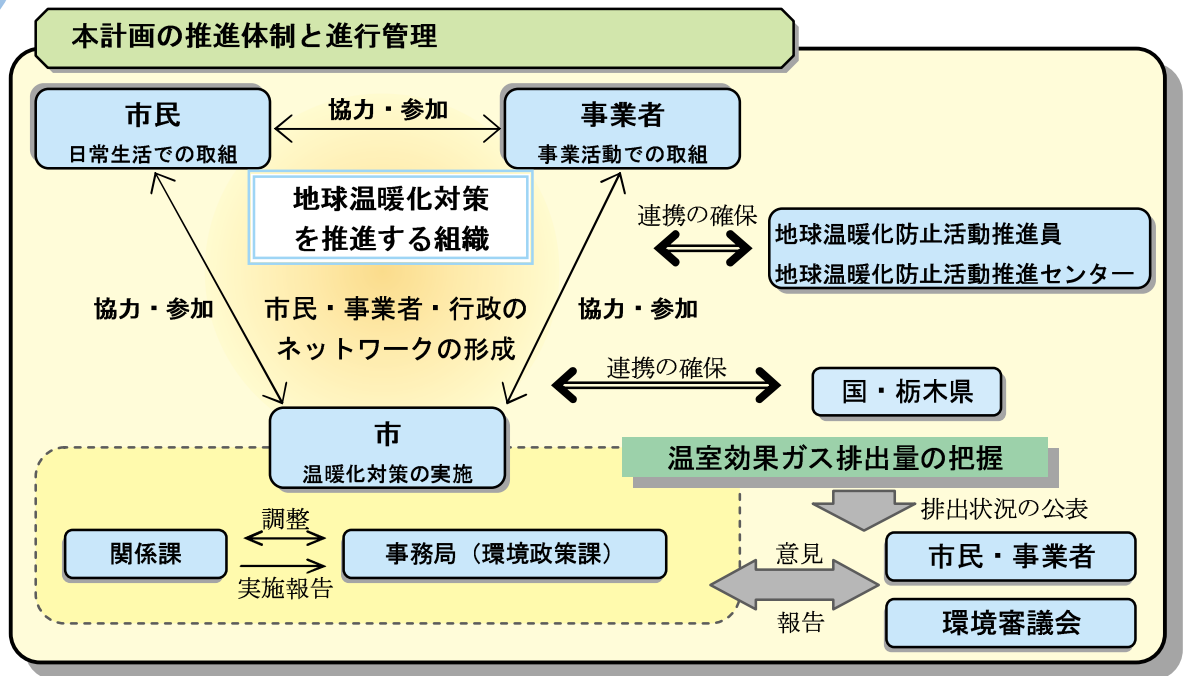
市役所自らの取組

温暖化防止のために、市民・事業者が行う日常生活や事業活動での取組促進と、都市構造や公共インフラ等の基盤整備の推進を行います。

また、地域における温室効果ガスを大規模に排出する一事業者として、自ら率先した地球温暖化防止の取組として、『宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン』※を推進します。

※『宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン』とは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく市の率先実行計画で、市の事務事業における省資源・省エネルギーやグリーン購入に取り組むとともに、庁舎等への省エネルギー導入や新エネルギー推進などを実施します。

推進のための方策



【地球温暖化が及ぼす影響…】

今、地球の温暖化は非常に速い速度で進んでいます。すでに、北極海の海水面積が減少し、ヒマラヤ、アラスカ、南米アンデスやアルプス、ピレネー山脈でも氷河の後退が進んでいます。

また、洪水、干ばつ、強力な熱帯低気圧の発生などの異常気象が世界中で頻発しています。2005年には、アメリカ南部をハリケーン・カトリーナが襲い、これまでにない甚大な被害をもたらしました。

一方、アフリカでは降水量の減少が続いており、今後もこの傾向が続くと、農作物の生産量の減少、生態系の破壊、海岸や河川域における被害がさらに進むと予測されています。

下の写真はヒマラヤの氷河の後退の様子です。

1978年 5月



25年後

2004年 8月



後退中のヒマラヤ（東ネパール）のAX010氷河（写真提供：名古屋大学環境学研究科・雪氷圏変動研究室）

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画

発行 2007年（平成19年）2月 宇都宮市環境部環境政策課

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号 TEL：028-632-2417 FAX：028-632-5426

URL：<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp> E-mail：u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp